



統合データベース タスクフォース
報告書の概要
(平成21年4月23日)

平成22年2月18日
ライフサイエンスPT

統合データベースの中核機関の必要性



【基本認識】

我が国のライフサイエンスを更に発展させていくためには、産出されたデータを利用者の視点に立って統合化し、効率よく研究者、産業界、さらには国民に還元し、新たな知見を得たり、新たな産業を創出していくことが不可欠

ライフサイエンス研究の成果が、広く研究者コミュニティに共有かつ活用されることにより、基礎研究や産業応用研究につながる研究開発を含むライフサイエンス研究全体が活性化されることを目指し、データベースの統合とそれに関連したバイオインフォマティクス研究の育成に向け、下記の機能を有する組織(統合データベースの中核機関)の設立が必要

【求められる機能】

○各省等におけるデータベースも含め、我が国全体に散在するデータベースを有効に使うことのできる運用を目指した一元的なネットワーク化の構築

データベース統合に必要な調査、データベースの統合に必要な標準化、システムの構築・維持・管理、ポータルサイトの構築、データベースの受入れ・管理・更新、データベースの品質管理、各省等のデータベースとのネットワークの構築、海外との連携等の実務機能に加えて、データベースの統合化や高度な検索等、統合的利用のための技術開発(インデックス、辞書、データフォーマットなどの構築)の機能

○国際連携

欧米諸国のみならず、今後の発展が予測されるアジア諸国とも密接な連携を推進

【検討事項】

○運営費の確保

オールジャパンの体制に相応しい新たな支援の仕組みの検討

○データ登録の推進(インセンティブの確保)

統合データベースへのデータ登録が進むよう、登録状況を評価する仕組みの検討

○人体に由来するデータ等の取り扱い

人体に由来するデータ等については、収集等に慎重な対応が必要であり、その方針を「統合データベース推進本部(仮称)」に部会を設置して検討

新しい統合データベースの組織体制(第一段階)



【統合データベース推進本部(仮称)の設置】

- ・「統合データベース推進本部(仮称)」はオールジャパンの視点で、**統合データベースの運営に関する司令塔**として機能。
- ・総合科学技術会議のライフサイエンスPTに附属して設置。

【統合データベース評価委員会(仮称)の設置】

- ・「統合データベース評価委員会(仮称)」は「統合データベースセンター(仮称)」の**運営全般について評価**する機能。
- ・「統合データベース推進本部(仮称)」の諮問機関として設置。

【統合データベースセンター(仮称)の設置】

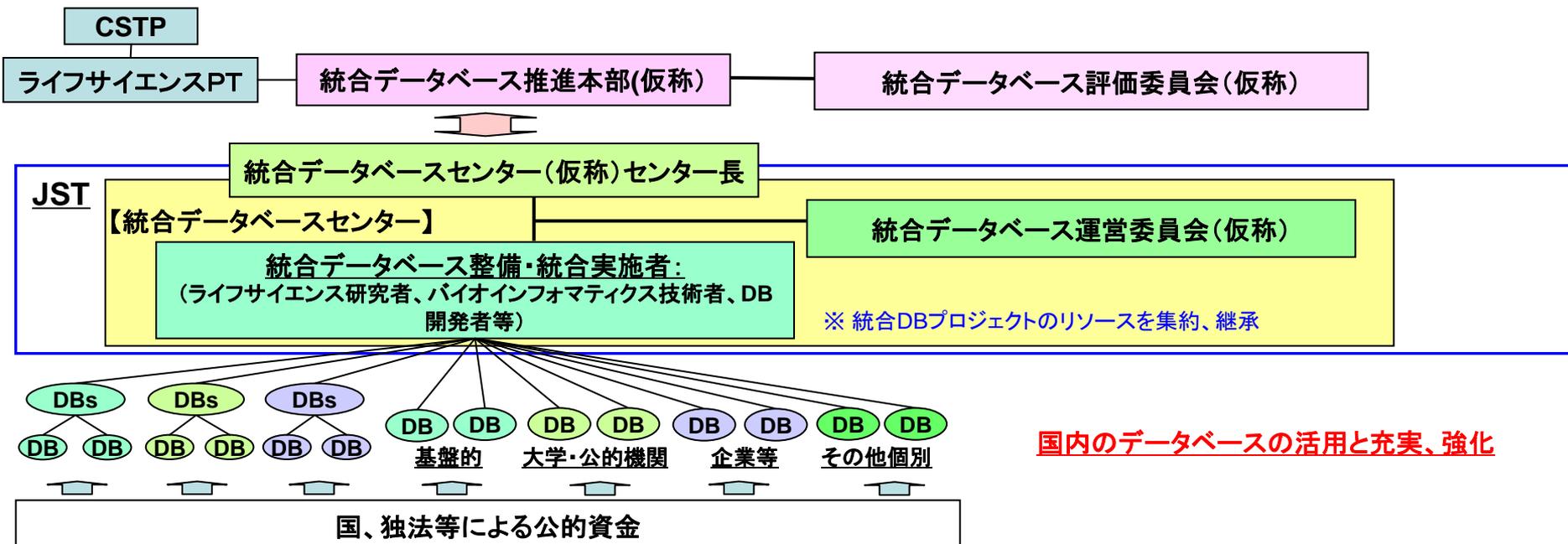
- ・「統合データベースセンター(仮称)」は、**センター長のリーダーシップの下**、データベース統合に必要な調査、標準化、システムの構築・維持・管理、ポータルサイト構築、DBの受入れ・管理・更新、データベースの品質管理等の業務を実施する機能。
- ・大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構(ROIS)に設置したライフサイエンス統合データベースセンターを中心に実施してきた文部科学省統合DBプロジェクトと独立行政法人 科学技術振興機構(JST)のバイオインフォマティクス推進センター事業とを一本化し、**JSTの新たな組織として整備**。

【統合データベース運営委員会(仮称)の設置】

- ・「統合データベースセンター(仮称)」の具体的な事業に関する**協議・調整**の機能。
- ・「統合データベースセンター(仮称)」に設置。

【国内のDBの活用と充実・強化】

これまで関係省庁、研究機関(事業)、企業等で取り組まれてきたDB(既存の各省の統合DBを含む)についても引き続き適切な整備を図る。



国内のデータベースの活用と充実、強化

統合データベース整備のロードマップ

